

館報 はた



令和元年7月1日現在

世帯数 6,182戸
人口 15,699人
男 7,570人
女 8,129人

町内公民館対抗ソフトボール大会

優勝は22区公民館



恒例のオール野球大会が、6月9日に少々天候が心配される中で開催されました。

今年度の大会より他の競技と同様に、A・Bリーグに分かれて、1日で終了するように変更になりました。

Aリーグには10チームの参加があり、Bリーグには7チーム参加がありました。2部制に変更した効果か例年より参加チームが増えました。

Aリーグは中央運動広場と波田学院グラウンドの2会場



でトーナメント戦、Bリーグは下島運動広場の1会場で行われ、2試合の親睦目的のリーグ戦として開催されました。

Aリーグの中央運動広場では開会式が行われ、その後試合開始となりました。各チームとも、実力伯仲で緊迫した試合展開が続き、どのチームが勝つか最後まで分からない試合が多く、見ている面白かったです。1試合は同点で決着がつかず、規定により選手9人でのじゃんけん勝負



敗を決めることになりましたが、9人目まで決着がつかず非常に盛り上がりました。

またBリーグ会場では、和気あいあいと試合を楽しんでおり、選手からも面白いと大好評でした。

Aリーグの決勝は前回の対決と同カードになり、22区対20区27区合同となりました。

1点を争う緊迫した試合で最終回まで決着が着かない好ゲームとなり、22区がサヨナラ勝ちをおさめ、連覇を達成しました。

1日での開催は初の取り組みでしたが、順調に進み非常に好評でした。多くの選手の皆さまと役員の方々の協力のおかげで、盛り上がった大会になりました。またその後の慰労会もさぞ、盛り上がったことだと思えます。

Aリーグ試合結果

優勝	22区
準優勝	20・27区合同
3位	1区・3区

22区のみなさん、優勝おめでとうございます。選手のみなさん、お疲れさまでした!!

令和元年27区町会清掃活動十炊き出し

6月22日(土)、町会の一次避難指定場所にて波田27区町会清掃活動と炊き出し訓練のイベントを行いました。その前の週に波田地区の防災訓練を実施したばかりですが、その時にお知らせのチラシ配りなどをした甲斐もあり、大勢の人の参加がありました。

当初は、集合と同時に分散してごみ拾いを行う予定でしたが、突然の雨に遭い、一部を除いてごみ拾いを中断することになってしまいました。

写真のように中央のかまどで火を焚き、カレーを煮込みました。また防災用発電機にて電気を起こし、ご飯を炊き



ました。一つ一つが初の試みで、メニューも初めてでした。子ども達のためにかき水も用意しました。数日前までの天気予報では気温が低めでしたが、当日は夏日となり、かき水には行列ができてしまいました。用意したシロップが終了してしまっほどの盛況でした。

住宅の建設ラッシュの真ん中にある一次避難場所は、地域交流の場としても、一等地であり、公民館施設を持たない27区町会は、このような野外イベントや、既存の施設を使った活動が中心となっています。今回のイベントを通じて、地域住民のつながりと防災意識の向上に貢献できたいと思われます。また秋にも2回目を実施する見込みです。炊き出しのレパートリーを増やすなどのチャレンジをしていきたいと思えます。



放課後の 波田児童センター

「ただいま」
「おかえり」

ランドセルを背負った子ども達との間でこんな挨拶が交わされ、波田児童センターは夕暮れ時まで子ども達の元気な声で溢れます。

同センターは地区の学童保育を担うべく、平成16年4月に開館しました。波田小学校の隣が波田体育館でその隣がセンターです。小学校からは200m。門を入ると、正面は庭で右手にセンター館があります。館の作りは玄関左手が事務所、右手には教室よりやや小ぶりの図書室、集談室、クラブ室が並んでいます。玄関左手の奥には遊戯室、吹き抜けで、床暖房も備えた部屋です。



さて、子ども達は荷物を置くとさっそく思い思いのことを始めます。宿題をやる子、カー

ドゲーム・将棋等に興ずる子、絵を描く子、図書室で本を読む子など様々です。そうやって30分ほど「静かな時間」を過ごす、3時半の「遊びの時間」。体を動かすことが好きな子は、それこそ蜘蛛の子を散らすように、遊戯室、庭隣にある波田体育館剣道室へと突進し、「天大中小」・縄跳び・サッカー・ドッジボール・ハンドベイス・バドミントン・鬼ごっこなどで目一杯遊びます。その後「休憩」「遊び」「おやつ」「掃除」の時間を経て、「お迎え」が来るまで数時間を過ごすのです。

学童保育は学校とは違い「生活の場」という立場で、子ども達が安全に楽しく過ごすことを第一と考えています。行事も設けられ、センターでの日々を後々楽しく思い出してもらえる、と運営されている施設です。

しかしながら課題もあります。一番の問題は庭も含めて活動場所が手狭なことでしょう。登録者が200名を超す現状で、夏休みともなれば教室が満杯となることも少なくありません。子ども達のがのびのび過ごせる環境を作っていくことが大事だと思います。

波田体育館 前の花壇



波田体育館前、波田小学校東のエリアは、体育館、小学校児童センター、波田中央保育園や子ども達が通ります。

ここにある花壇はこれまで、4区のボランティア「波田中央花クラブ」の方々が松本市の公園緑地課から花苗・肥料の提供を受けて管理していました。

今年から新しいメンバーも増え、波田小・中学校の児童生徒、児童センターの子も達公民館の竹の子教室の親子と一緒に花を植え、管理する活動を始めました。

6月25日には竹の子教室の親子と「日々草」「マリーゴールド」「アゲラタム」「ポチュラカ」を植えました。

7月は児童センターポタニカル部の子ども達と草取りを行いました。

夏になるとヒマワリやダリアも咲き、花いっぱいの花壇になります。

8月30日の午前中には、波田小学校6年生と草取り作業を行う予定です。

また、近くの波田文化センター前の花壇はシルバー人材センターの六川さんに植付・管理をいただいています。

このように、花いっぱいの美しい教育文化ゾーンにしたいです。

皆さんも是非、見に来てください。



偉人、著名人の名言や格言を紹介します。

生活をしていると、新聞やテレビ、本やスマートフォンからの情報から、耳にしたり見たりすることがありますよね。大体の名言や格言は「生き方」「考え方」を後押ししてくれる言葉かと感じます。探せば無限にあるのではないかと思います。人によって突き刺さるポイントは千差万別。普段の生活をしながら、仕事をしながら色々悩んでしまいう時に私が思い返す名言、格言を少し紹介します。

「どんな小さな行動にも魂を込めることだ。それが成功の秘訣だから。」「想像力さえあれば、無限の力を発揮できる。」「最高の夢は目覚めている時に見る。」「いかなる時でも、お辞儀はし足りないよりも、し過ぎたほうがいい。」「いさめてくれる部下は、一番槍をする勇士より値打ちがある。」「売れているものが良いものなら、世界一のラーメンはカップラーメンだよ。」「やはり読み返すと勇気をもたらえます。みなさんも心に響いている名言や格言、ありますか？」